

ニセ電話詐欺の認知状況（令和4年8月末）

～「老人ホームの入居権」に関する電話は要注意！！～

1 県内のニセ電話詐欺の認知状況（令和4年8月末）

- 被害認知件数は**73件**（前年同期比+12件）
- 被害総額は**約1億6,727万円**（前年同期比-約5,185万円）

2 令和4年8月の認知状況

- 被害認知件数は**11件**（前年同月比-6件）
- 被害額は**約1,781万円**（前年同月比-約2,239万円）
- 手口は
 - ・ 架空料金請求詐欺 9件
 - ・ 還付金詐欺 1件
 - ・ 融資保証金詐欺 1件

3 県内のニセ電話詐欺の傾向（令和4年8月中）

8月中のニセ電話詐欺認知件数は11件でした。前年同期比で12件増加と大変厳しい情勢が継続しています。

8月中は、「老人ホームの入居権を巡る名義貸しトラブル」に巻き込まれたと誤信させ、解決金として金銭をだまし取られる手口が2件発生しています。この手口は、「老人ホームをこれから作るので入居しないか」と実在の業者を名乗る者から電話があり、被害者がこれを断ると、「それでは、その入居権を他の人に譲ってよいか」と持ちかけられます。被害者は「自分は入居しないし、他の人のためになるなら」と了承します。しかし、これは犯人の罠で、別の犯人から「あなたがやった名義貸しは犯罪だ」、「犯罪者になりたくないなら解決金を払え」や「口座を凍結される前に弁護士に送金して、お金を避難させてください」などと言われ、非常に高額なお金をだまし取られます。

この手口と思われる予兆電話も県内各地で頻発していますので、「老人ホーム（介護施設）」、「入居権を他人に譲る」などのワードには十分気をつけてください！！

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和4年8月末(人)		
	男性	女性	計
0～19	-	-	-
20～29	3	2	5
30～39	-	1	1
40～49	2	3	5
50～59	7	3	10
60～64	3	7	10
65～69	8	11	19
70～79	8	7	15
80～89	3	5	8
90～	-	-	-
合計	34	39	73
うち65歳以上の高齢者	19	23	42

～ニセ電話詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和4年8月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	29
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	4
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	3
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	35
キャッシュカード手交型	-
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	2
合計	73